



発行者
株式会社 サカタニ
集西楽サカタニ
ファミリーマート
サカタニ京阪七条店
〒605-0993 京・
東山区七条こころ坂
TEL・075-561-7974
URL www.sosake.jp/
E-mail info@sosake.jp
毎月発行の
会員新聞です
編集・新谷義郎
yosirou@sosake.jp

ファミマ・ サークル・ サンクス

合併 ニュース

3月6日・
ファミマとサー
クルサンクス
とが、経営統
合をする話合いが、
新聞各社の記事で公
にされた。



現在日本では幾つか
のコンビニエーンがある。
主たるもの上はローマ
クの通り。
我が社は「ファミリーマ
ー」
トだが、その
開店した当
時は、下の「
ココ」
だった。

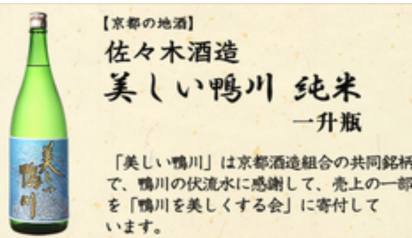
氏は、今の私は現場を離れているの
で判らない、只、時代は、何が起るか
判らない。何が起つても驚かないよ
うにはして置きたい」とだけ仰つ
た。今回の合併報道を聞いて、やっぱ
り来るものが来たのだと納得している。
現在(14年12月)日本国内のコン
ビニの店舗数は、飽和点といわれた五
万店を超え全国で五万八千八百十四
店舗。人口、世帯数とも増加を望め
ない中で生き残るには、他チェーンを
本部で丸々手に入れるのが手取り
早い。そのキーマンは伊藤忠商事。
両社の大親分、その意向で、一気
に再編が進むかも。
上のロゴマークの中に
「Coco」が有る。
それは名古屋の名門、酒問屋山泉さ
んが展開する「コンビニ」の商標。名
古屋と九州に店が多い。そのコストア
ーがどうも近く、店舗を他のチェー
ン譲らう。恐らく今回の合併に合
わせたのだらうと思つてゐる。そして
それら全て名称を一つにするとの報
道もあると聞く。此処までの状況
は想定外だが、似た様な事は起る
可能性はあるかも知れない準備をして
いた。それが「集西楽のスペース」とサカタ
ニ友の会。地域にお役に立つ店を
めざして「」を掲げて、とんから
んを配つてきたこと。
祖父が開業して百一年。お酒を
中心にして、波瀾万丈であったが53
歳の時、大勝負で大借金して、家を
ビルに建替え、その返済が出来る仕

併を目指しているのでは?」と問う
た。(以前のとんからりん掲載した?)

早く年会費をお払いください。友達と共

早く年会費をお払いください。友達と共

鴨川を美しくする会の応援酒



1.8L・2044円
720・mL 1049円
300mL・409円

佐々木酒造の現社長は、
俳優の佐々木蔵之介さんの弟さんです。

が。ない。今度は、サテ・さて???

第3日曜日開催日23月18日(定例:朝9時~) 第121回: 朝粥食へておシャベリ会 ご講演 松本伸之様: 報告者: 高木英智様

「博物館を楽しむもつ」
サカタニのすぐ近く、京都国
立博物館の副館長兼学芸部長、
松本伸之様を講師に。
去年11月、東京国立博物館
から京都国立博物館に異動。
新館オープンで田舎に進めよ
との命を受け、大好きな京都
に住めると喜んで赴任。
国立博物館は全国に東京、京
都、奈良、大宰府の4か所。
奈良博は仏教美術に限ってい
るが、京博は京文化、都の文
化を公開。今ある美術、文化
財を後世に伝える。博物館は
固い、つまらない、おもしろ
くないと言われるが、もつ
と地域に根差して、地元の皆
さんに価値を認めてほしいと
思つて仕事をしてきた。
70歳以上、18歳以下は
入場無料。一般520円。
新築の平成知新館は方広寺
の南門のあた
りとか、
歴史を尊重し、
南門跡の位置に
合わせて知新館
の入口を設けた。
建物は障子を入
り、いい雰囲気。
展示のケー
スはガラスがないと錯覚する
ほどの透明度。照明はLED
採用で熱を出さず、電力効率
がよい。床下は免震工事。
講堂もレストランもある。
博物館の楽しみは、学ぶだ
けではなく、みなさんの感性、
喜怒哀楽を自由に観るものに
当てていただければよい。
ひとつの美術館、作品にちよつ
と観ようとアプローチしても
らったら、動き出すもの
人間のアタマはいつたん動き
出すと、想像力、創造力がわ
いてくる。対象に対して自
分なりの好き勝手をしたらい
い。
地元だからいつでも行けるで
はなく、ぜひ一度お越しくだ
さいとのことでした。

成り行き任せにしまつさ!。と
答えている。随分、銀行が潰
れてサークルKさんが進出。
▽それ以前に、少し西にセブン
が来ると噂のあったビルを当
社がお借りして押え、あちよ
の名の、老人の従業員を老人ば
かりの居酒屋をつくり防いだ。
▽大学先輩で永年に友人、信ち
んに店長にして。残念なこと
に彼が死んで閉鎖した。とが命
日。今日例年通り墓参りした。
▽あちよのの名は、彼と共通
の友、堀井君が考へてくれた。
一杯は飲まずに金払はわ
んで。の厚かましい要求を快
くのんでくれた。

朝粥食へて おシャベリ会 恒例・食前のお話 お話・博物館を 楽しもう



の南門のあた
りとか、
歴史を尊重し、
南門跡の位置に
合わせて知新館
の入口を設けた。
建物は障子を入
り、いい雰囲気。
展示のケー
スはガラスがないと錯覚する
ほどの透明度。照明はLED
採用で熱を出さず、電力効率
がよい。床下は免震工事。
講堂もレストランもある。
博物館の楽しみは、学ぶだ
けではなく、みなさんの感性、
喜怒哀楽を自由に観るものに
当てていただければよい。
ひとつの美術館、作品にちよつ
と観ようとアプローチしても
らったら、動き出すもの
人間のアタマはいつたん動き
出すと、想像力、創造力がわ
いてくる。対象に対して自
分なりの好き勝手をしたらい
い。
地元だからいつでも行けるで
はなく、ぜひ一度お越しくだ
さいとのことでした。

を。ご。覧。に。な。う
て。ア。ン。タ。と。は。大。変。や。な。あ。!
ど。な。い。し。や。は。り。ま。す。の。ん。や。?」と
沢。山。の。人。か。ら。声。を。掛。け。ら。れ。る。
▽ワ。ア。私。の。方。は。ど。う。し。や。う
も。こ。う。し。や。う。も。あ。り。ま。ん。!
成。り。行。き。任。せ。に。し。ま。つ。さ。!。と
答。え。て。い。る。随。分。に。銀。行。が。潰
れ。て。サ。ー。ク。ル。K。さ。ん。が。進。出。
▽。それ。以前。に。少。し。西。に。セ。ブ。ン
が。来。る。と。噂。の。有。つ。た。ビ。ル。を。当
社。が。お。借。り。し。て。押。え。、あ。ち。よ
の。名。の。老。人。の。従。業。員。を。老。人。ば
かり。の。居。酒。屋。を。つ。く。り。防。い。だ。
▽。大学。先輩。で。永。年。に。友。人。信。ち
んに。店。長。に。し。て。残。念。な。こ。と。に
彼。が。死。ん。で。閉。鎖。し。た。と。が。命
日。今日。例。年。通。り。墓。参。り。し。た。
▽。あ。ち。よ。の。の。名。は。彼。と。共。通
の。友。堀。井。君。が。考。え。て。く。れ。た。
一杯。は。飲。ま。ず。し。て。金。は。払。わ
んで。の。厚。か。ま。しい。要。求。を。快
く。の。ん。で。く。れ。た。

どんつき

▽新聞報道

▼彼は当時 電通の広告マン。今
も流れてる 京阪のおけいはん
やヤンチャウの関西保安協会
CM等は彼のグループの作どす。
友情だけでやつてくれた。
▽アンタや 信ちゃん!が絡んで
たら金は取れん!ヤリマッサ!
他に 三途の川も候補だったの
でそれもいたいて 飲み屋の
小部屋の名前につかった。
▼近頃は、物を言う金。口約
束は通用せず。契約書を交わ
す。印を押せば、契約違反は裁
判で負ける。昔は良かったなあ。
▽ワテは兄弟喧嘩は嫌い。負け
る、負けそうな喧嘩はしたことが
ない。今度は、サテ・さて???

ヨシちゃん のひとりごと



商いと人情①

3月中旬、新聞で「サントリーがアサヒを提訴」の記事を見た。ノンアルコール飲料に関する「特許権」のことでサントリーがアサヒを訴えたとの。私はそれを読み大情よりお金」が優先する世にならなと思った。

祖父の代からの酒屋、幼い時から卸・小売・コンビニと業態を変え81歳の今まで生き、酒業界（サントリーとアサヒの闘争）を良く知っている私はまさかと思った。そしてサントリーが提訴したことに強い違和感を覚えた。アサヒグループでアサヒの子会社「ミツカ」の売れ行きが増加した所為とも勘繰るが、そんな次元では訴訟はしないだろう。

戦後、米不足で酒が造れず「アルコール」を割水にした「焼酎」が急激に売れた。その最大の供給元は「寶酒造」。同社は先行き判断し1957年（昭和32）タカラビールを製造した。



だが、酒卸業者は「日本（現 サッポロ）との特約契約店（私は朝日）縛りで、宝」のビールは取り扱うことが出来ず、宝は自社系列酒卸（朝日酒造）でしかビールを酒小売店に売れず販路拡大を諦め、1967年（昭和42）ビール事業より撤退、ビール工場も売却した。

その後1963年（昭和38）サントリーがビールに挑戦した。同社は戦前に銘柄「カスケード」を製造販売していたが、販売は大苦戦、扱った卸店では貸すだけ売れぬビールや「とんから」という。その時代は、ビールは、

需要も少なく販売網も「弱さ」も大きかったのだろう。その経験で、サントリーは、ビールの販売を「名古屋の西郷 朝日麦酒特約店網を使った。それまでアサヒは他銘柄ビールの扱いを厳禁していたが当時、強力な権限を持っていた朝日社長麦酒山本為三郎氏とサントリー 鳥井信三郎氏と深く長い信頼関係と、当時朝日・サントリーの大取引先 松下商店（現 豊田通商）の意向も有ったのだと推測する。

稲荷山 ぶらり散策記⑥ 越智薫史



原始社会の宗教は、森羅万象、山川草木あらゆるものに神の存在を信じている。自然を克服して、自然と対決して、創造の主を求めたヨーロッパ発祥の「一神教の世界と、自然と調和して、自然の中に神の存在を見つめてきた日本の汎神教の宗教」といふずれが21世紀の宗教としてふさわしいかとよくいわれる。汎神論とは全てのものに心が宿るとする考え方である。近代科学からすると非科学的といえるかもしれない。

京都力 石動敬子

なんでまた、早目に辞めたんだか。続けてたらシンガポールだのグアムやオーストラリアだのカナダだのへ研修旅行の引率でいったのに」「いやあ、その頃は、沖縄（みぎのく）（奥の細道）への引率ならしうとは思っていません」「そんなんで、はい、一句なんて言ったら完璧嫌われてますよ」

「あはは」いつも、想定外の会話が楽しい、某スポーツ施設のシャワーや風呂でのやり取りだ。ふと、ああもつとつと自由に世の流れに沿っても良かったのかなと初めて思った。そんなところへも行かなければ見えないこともあるのかも。元勤務校にお孫さんを通わせておられる、身内のような方との会話である。

巨大な石に神が宿り寄りつく場所とされたり、神が宿る神聖な樹木、これを神体木といい、古典では神籬（ひもろぎ）とよんでいる。伏見稲荷大社のご神体は一ノ峰に行けばわかるが大きな岩である。ごつごつした岩が幾重にも建てかけてある。2月の初午の日に、杉と椎の枝で作った「青山飾り」を本殿や末社に飾りこの日を迎える習わしがある。お山全体とそこに生える草木に神が宿っているというのだ。

経済的にはきつくなり、自転車での移動が増えた。高齢者は無料、などの施設や特典にも注目し、おかげで、植物園など近隣に親しむ洛中探索で、心が満たされた。

なのに、わが文学部同窓の学友が集まってきたら、定年後はなぜか「今から外国語」だった。少なからずこれにはショックを受けた。共に風雅を語ろうかという人はごく稀だったのだ。いや、風雅というのはちよつとそぐわずとも、日本人の美意識に遊ぶというようなものは皆無だったのだ。文化的日本的「心あらん友もがな」の心は見事にうち砕かれてしまったようだ。

自然を克服し、自然と対決して発展してきたという。非科学的と言われれば私も困るのだが、自然と調和する方がはるかに良いと思う。しかし、世の研究者は自然と対決し、日夜研究を重ねている。新たな物質を生み出したり発見している。その頂点にあるのがノーベル物理学賞などである。

外国人観光客の人気スポットが、前年度まで一位の広島平和記念資料館を抑えて伏見稲荷大社がトップになっている。「平和で美しく神秘的な場所」という評価が多い。赤い鳥居をくぐりながらお山を一周すると自然との一体感が満喫できる。やはり自然との調和は気持ち良くハッピーに感じるのだろう。



バンドリーダー基地、あれは、まして「京都力」から「留守です」と応え、断りたいときは「考えときます」というしたたかさは健在だろうか。

あつさり丹後に許したバンドリーダー基地、あれは、まして「京都力」から「留守です」と応え、断りたいときは「考えときます」というしたたかさは健在だろうか。

京都&東山 ぶらりピカリ

60

しちじょうようとうり

七条通 七条大橋

② 後白河天皇
をして「加茂河の水、



双六の賽、山法師、是ぞわが心にかかわぬもの」と嘆かせた鴨川は、近世でも多くの橋が洪水で流橋、破壊されている。その中に有って1913年

(大2) 4月14日市電も通る(5連の鉄筋コンクリートアーチ橋・全長82m、幅員18m) 七条大橋は架橋されたママの姿で、一度も壊れず京の東西の交通を護った橋である。

一昨年・架橋百年記念集會を当社「楽々ホール」で開き、集會後、参加の門川京都市長と参加者共々、「橋渡り」をした。

この橋の構造設計は、明治・大正期の鉄筋コンクリートのパイオニアと呼ばれる柴田畦作氏(しばたけいさく・明6〜大14)。意匠設計は、森山松之助氏、同氏は、台湾総督府の意匠設計をされており、建築の神様のように崇められているとお方だ聞く。

橋の躯体は架橋当時のママの姿だが、欄干と照明塔は、昭和18年(先の戦争中)、金属類回収令(出)で金属部分の取り外され欄干は木製になり戦後も壊れ部分は針金の応急修理で放置されていた。見かねて京都新聞投書、KBSラ

ジオ池田幾三さんの番組で取り上げられて今の「欄干」になったが、元のデザインではない。照明塔は元とは異なる「街路灯」だ。

本来は復元をするなら。元の姿にするのが当然だが、欄干は全く異なるデザイン。照明塔は、街路灯になった。橋の歩道も安直な「簡易アスファルト」雑草も生え、

一つ南の塩小路橋よりも劣る。京都駅から東山に向かう観光客が最初に渡る橋、京阪七条駅から鴨川の数ある橋で、四条・三条に次いで利用度は高いだろう。形状と歴史で土木学会が2008年、「選奨土木遺産」と認定したが、橋の軀は百年の「汚れ」が付いている。

近く梅小路水族館の隣地に鉄道博物館。崇仁小学跡地に芸大も移転してくる。武田病院跡地に外資系の高級ホテルの建築が進んでいる。七条大橋の利用者は一層増えるだろうし、この橋の姿は、恥ずかしいと思う。今、私も参加して

いるNPO法人「京都景観フォーラム」や京都女子大学・地元住民が中心となり「鴨川を百年見つめる七条大橋と歩む会」では「七条大橋」を登録有形文化財への登録をめざしている。



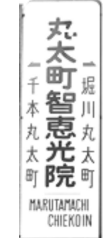
100年前の七条大橋の姿を復活させたい！
(2008年4月14日発足)

内外観光客が京都駅前から通る七条通りと東山の玄関口を美しくしてお迎えしたいものだ。

市電が走った 京都を巡る

50

福田静二



堀川丸太町
丸太町智恵光院
をた丸太町線

は、西へ向かって走ります。左手に待賢小学校、右手には小さな商店や民家が並びます。丸太町通は、そのあと右へ曲がり、やや北西方面に向かって走ります。幕末の頃の地図を見ますと、この付近には京都所司代の下屋敷があったところと記されています。それが市電が敷設された明治末期・大正時代の地図になると「監獄」と記されており、屋敷跡がそっくり監獄に転用されていることが分かります。そのため、市電を西へ延長する際には、まっすぐに進むことができず、やむなく斜めに線路を敷いたようです。

調べますと、明治三年に、所司代屋敷跡に監獄が移転し、大正時代

に、その斜めの丸太町通が再び西へ向きへ変えるところに「丸太町智恵光院」の停留場がありま



春陽堂前の停留場に到着した市電

代に京都刑務所と改称され、昭和二年に山科区に移転するまで、この地に所在していました。現在でも、ほかの地域より道路幅が整然と通っているのは、昭和になってから民有地として開発されたせいでしょう。先ごろまであったNHK京都放送局も昭和七年にこの地へ移転します。高いアンテナ塔が遠くからでもよく見えて、付近の目印となっていました。先ごろ、丸太町池に新局舎を建てて移転しました。

さて、その斜めの丸太町通が再び西へ向きへ変えるところに「丸太町智恵光院」の停留場がありま

で、その医師会が移転した昭和四十年に、丸太町智恵光院と改称されました。その医師会館の建物は、当時の停留場の真前にあり、医師会の移転後は、外食産業の春陽堂の本社となりました。大正十三年、京都にゆかりの建築家、

武田五一の設計で建てられた白亜の三階建ての建物で、バルコニーの装飾や、丸窓、アーチ窓と、個性のある建物でしたが、平成十九年に解体されています。



丸太町通を斜めに走り、丸太町智恵光院に

また智恵光院通には、当時、京都駅八条口と衣笠を結ぶ、市バス25号系統も走っていました。現在では、市電エリア内の市バス路線は、市電が走っていた道路が中心ですが、当時は、智恵光院通のほか、近くの御前通など、市電のない通りにも、市バスの細かいネットワークを張り巡らせていました。

その後、同系統は、地下鉄烏丸線の開業した昭和五十六年に廃止されました。

「とんからりん」に市電の話を書き下ろしている福田静二様の本がトンボ出版から発売されます。B5版216頁力作。市販2600円＋税ですが、当社を通じご注文の場合。送料含め2800円でお宅までお届け出来ます。大サービスで数量に限りがあり、お早下書きを。



家の十四代目

た。店先には「カウンター」を設けて居酒屋風になっていた。酒のつまみは塩豆（無料）、満員になり、お客さんが台所まで入理、酒を飲むことも有った。番頭と丁稚3人、事務員さんとお手代さん（当時は女中さん）がいた。

会社」にいた関係で他所で、その
継続会社「日本酒類販売会社」の
下請けで酒卸の仕事をしていた。
敗戦シヨックが落ち着いた昭和

月三天

よしなしことを
(よぎる様々な物語を)

「よき物語……」
机に額を埋めている小説家は、

春の日和だというのに。そこら
一歩も動こうとしない。いや違
う、動けないのだ。

窓越しに洗濯物をゆらす音
外階段でうたた寝をする猫のい
びき、お決まりの鳥の鳴き声に
待ち焦がれたこの日差し。それ
を感じとる度に、彼の耳が微動
する。

そこはかたなく書きつくれば
(とりとめもなく書いていたら)

「物語が、響かぬわい」
空気が重くなるような声は、
頑なに季節を拒んでゆく。
「なあぜだあ」

四月
三十一日

酒卸業をしてい
た時代の話である。
店の販売員が、
4月31日付で
掛金代金を4月
の掛金小切手を
正金として貰え
てきた。け

が、先方の銀行に
ても、先方の銀
行に決済はする
とて、銀行に入
れた。

先方は形式不備で決済しなかつた。私がい
たと行かしたがお聞き入れず、私が
ど度かしたがお聞き入れず、私が
何度も駄目だった。お願い、どうも
の落度、駄目だった。お願い、どうも
い様から思つて、通常は買う気がな
金方から思つて、通常は買う気がな
仕方がない。大した金額でない
何から許さないかとも思つた。更
何度もお願ひに行つた。更に
それを間に、先方の店の不動
を調へた。間に、先方の店の不動
を負担額は少ない。よして、最

悪いら、不動産を差し押さえて、少額で面倒し、押さえた店、動産ば
 良いが、不動産を差し押さえて、少額で面倒し、押さえた店、動産ば
 を差し押さえて、少額で面倒し、押さえた店、動産ば
 積行で手続完了。その前日も、結
 執時は同じ。間に一方、今日まで、結
 果は同じ。間に一方、今日まで、結
 毎晩はお払いにきけいまして、明
 今日の来払いにきけいまして、明
 くるなら、来払いにきけいまして、明
 くださる、貴方様の方から来てさ
 日、執行官と同行、差し押さえて
 に立会う。先さんは大慌て、先
 さが差押は完了になりました。後、先
 さんが金で来司になりました。後、先
 額も代金に戴した。書士等のお取
 と断り頂戴した。先さん以後は廃
 お断り頂戴した。先さん以後は廃
 ね、どこかへ消えられた。邪
 なことは、天が許さないと、思
 出訓を得た。四月になると、思
 出す。前にも書いたかなあ。

▽新聞風の読み物を出し始

めたのは平成7年4月。当時は酒屋仲間7名とお酒の共和国と名付けたグループで発行した▼単独の「酒屋」で続けられない時代が来ると思いい将来は一つの会社にならうと酒組合の反対の中「酒場と酒屋」実験店舗をつくつてた。

▽新聞・友の会：販売ソフトなどを創り、歩みだしたが、夫々が一国一城の主、残念ながらバラバラになった。が、酒屋が減った今も元気で酒屋を続けている。▼実験店舗は潰さざるを得なくなり始末をするのに大変な苦勞をした。只その頃に「友の会」をつくっていて、そのお陰で今日が有る。

「一般的に南売りの倉庫云々には会費は無料が普通」。当社も当初はその様にしてしたが、途中で会費を頂戴する事にした。▼その頃は「酒は正価」販売が普通だったが、会員様には安く

提供した。当時は酒税絡みで安く売ると「税務署」から注意された。情報が漏れたのだらう。

▽それで年会費を戴き登録する空に^二し現在に至る。勿論、ご損にはならない手当て。が、毎年、四月更新時には激減する。今年も同じようだ。

▼商売の形態も変化、ネット環境も進化した。でも人間関係は矢張りお顔が見え、声が聞ける方が良いと思っている。マダの人は早く戻って来て！。

▽コンピニの厳しい競合時代にな
たきた。何とか頑張りながら、
一歩二歩と前に進みたい。後ろ
から押して！**お友を誘って！**